

「自分づくり」への挑戦！
～マイチャレンジ活動～



市内の中学2年生が、社会体験活動にチャレンジ。地域の人々に支えられながら行うこの活動は、生徒たちがあいさつや礼儀など社会の一員として必要なことを学ぶ大切な機会です。また、自分自身を見つめ直す貴重な時間となったことでしょう。

永田保育園で活動した西那須野中の岩本 岳^{がく}さんは「園児と関係を築く上で、平等に接することが大切だと感じました。子どもへの接し方だけでなく、職場とのアポイントの取り方など社会で必要なことも経験することができました」と体験を振り返りました。



自分も大切 相手も大切
～人権の花運動～

市では関係機関の協力のもと、人権啓発の一環として人権の花運動を市内小学校4校で順次実施しています。花を植え、世話をすることによって命の大切さを感じ、人権尊重の精神を育むことが目的。

6月8日に実施した大貫小学校では、事前に開かれた人権集会で自分の幸せも相手の幸せも大切であることを学びました。当日は6年生の臼井 健吾くんが「人権の花をたくさん満開にして、みんなが笑顔になれたらいいなと思います」と児童を代表して話し、児童1人1人が丁寧に花を植えました。

西那須野中 長浜 瑠南^{るな}さん
ねむの樹での職場体験で、仕事はお客様に対する気遣いや、感謝の気持ちを持ち続けることが必要だと学びました。お菓子作りや接客に取り組むなかで、働くことの大切さを感じました。



西那須野中 石下 大夢^{ひろむ}さん
人命救助という仕事の大切さや大変さを実感した5日間でした。消防署では、人の命の重さを常に考え、1人でも多くの人を救うために、万全の準備や努力をしているのだと知りました。

箒根中 佐藤 麻基^{あさき}さん
接客の仕事では、笑顔でのあいさつや相手の目を見て話すことが重要だと感じました。また、仕事とは自分ではなくお客様のことを考えてすることが大切だと学びました。



私の手 大きくなったよ！
～卒園記念手形づくり～

6月3日、市内で陶芸を楽しむ陶友クラブの協力のもと、わかば保育園で来年3月に卒業する園児の手形づくりが行われました。これは今回が初めての試み。陶友クラブ桐生さんは「子どもにとっても思い出になるし、私たちにとっても孫のような子たちと関われるいい機会。無償で行っているのも、もっと多くの園で実施できたら嬉しい」と話しました。子どもたちも「手形を押すのはすごく楽しかった。手が大きくなった」ととびきりの笑顔。自分の成長を実感する瞬間になったようです。

子育てに悩んだら行ってみよう！(8月)

育児相談

育児の不安、1人で悩まないで。お話しにきませんか。

保健師や栄養士などによる相談を行っています。お気軽にお越しください。

とき	ところ
4日(休) 午前9時30分～11時	黒磯保健センター
18日(休) 午後1時30分～3時	西那須野保健センター

※西那須野保健センターは事前の申し込みが必要です。

母親学級

お母さんになるための準備、みんなで一緒にしましょう！

妊婦さん同士の話し合いや体験学習をします。ママ友づくりの場にもなっていますよ！

とき	ところ
2日(火) 午後1時30分～3時	西那須野保健センター

テーマは、「赤ちゃんのために妊娠中からできること」家族の人(お父さんになる人)も、ぜひ一緒に参加してください。※予約制になりますので事前にお申し込みください。

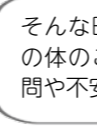
予約問い合わせは
○黒磯保健センター
0287-1100
○西那須野保健センター
0287-1356



おいでよ！ 母親学級



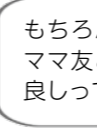
赤ちゃんができてすごく嬉しいけど、何も分からなくて不安だな。



そんな時はぜひ母親学級へ！ 妊娠中の体のこと、産後の育児についての疑問や不安に専門家がお答えしています。



初めての妊娠でいろいろ心配してたから嬉しい！ でも1人で行って大丈夫？



もちろん大丈夫！ 母親学級でできたママ友と、子どもが生まれてからも仲良しって人たくさんいるんですよ～



気になるテーマはこちらの3種類。9月以降の開催予定はQRコードからチェック☆事前の予約をお願いします。

第1課
「ママと赤ちゃんの健康づくり」
・妊娠中からの健康づくり
・妊娠中から気をつけたい、健康的な食生活とは？

第2課
「赤ちゃんのために妊娠中からできること」
・生まれてくる赤ちゃんについて
・ママと赤ちゃんの健康な歯を育てよう

第3課
「産後のイメージづくりとみんなでトーク」
・産後のママのこころとからだ
・産後の生活をイメージしよう(親学習)

※全課で、育児体験やパパの妊婦体験、個別の健康相談を行っています。
※パパやご家族の参加もお待ちしています！



育児ママヘインタビュー！



インタビューに協力してくれた
佳織^{なほり}さん
悠希^{ゆうき}くん(1歳)

妊娠中、母親学級に2回参加したという、佳織さんに話を伺いました。

Q 母親学級に行こうと思ったのはなぜ？
A 初めての妊娠で、何がわからないのかもわからないという状態だったので、専門の先生の話を聞いてみようと思ったからです。

Q 母親学級ではどんな活動をした？
A 先生の話の聞いたり、グループで不安や悩みを話し合ったり、おむつ交換や子どもの抱き方など、子育ての学習もしました。活動のなかでママ友もできましたよ。

Q 母親学級に行ったらプラスになったことは？
A 勉強になることがたくさんあって、漠然とした不安が解消されたことです。それにパパも一緒に参加したおかげで、生まれた後もよく手助けをしてくれています。初めて参加する時は私も不安だったけど、雰囲気もすごくいいし、オススメです！

妊娠に不安はつきものだと思います。1人で悩むよりも1歩外に出て、楽しく学びながら過ごしてみたいかがでしょう。

※インタビューコーナーに出てくれる、子育てに奮闘中のママ(パパ)さんを募集中♪

お問い合わせ
○本ティブロモーション課
0287(62)7109